

会 議 録			
令和5年度 第19採択地区教科用図書 第2回選定委員会			
招集年月日	令和5年7月7日(金)	開会場所	行田市教育委員会 2AB会議室
開閉の時刻 及び宣言者	開会 7月7日(金) 13時00分 閉会 7月7日(金) 16時10分	司会	教育指導課長
会長	行田市教育研究会長	副会長	小学校校長会長
席次番号	出席の委員	摘 要	
1	行田市教育研究会長		
2	小学校校長会長		
3	中学校校長会長		
4	教育指導課長		
5	P T A連合会長		
議 事 参 与 者			書 記
教育指導課指導主事兼主幹			教育指導課指導主事兼主幹

発 言 者	会議の経過（議題・発言内容・結論等）
司会	開会
会長	あいさつ
司会	<p>資料確認</p> <p>本日の研究結果報告だが、教科ごとに全部の教科書について、調査員が作成した資料「第19・20採択地区教科用図書研究結果報告書」に基づいて報告する。報告後、質疑応答の時間となるが、報告書と調査員会での話し合いの内容に基づき、お答えさせていただく。報告は、資料「令和6年度使用小学校教科用図書一覧表」の順で行う。また、各教科書の分量等の報告については、埼玉県教育委員会の調査資料をご参照願う。</p> <p>質問はあるか。</p>
司会	<p>協議に入らせていただく。協議の進行については、第19採択地区教科用図書選定委員会規約第9条2項により、第19採択地区教科用図書選定委員長様をお願いする。よろしく願います。</p>
会長	<p>はじめに、第19採択地区教科用図書選定委員会規約第10条により、この会は公開とするが、よろしいか。</p> <p>【全委員承認】</p>
会長	<p>事務局。傍聴される方は、来られているか。 傍聴する方がいたら、傍聴について説明し、案内をお願いする。</p>
事務局	<p>（事務局より傍聴人に説明する。） ※傍聴人規則の説明</p> <p>（傍聴人着席）</p>
会長	<p>事務局より研究結果報告について、はじめに国語の報告を願う。</p>
事務局	<p>「新編 新しい国語」（東京書籍） 知識及び技能が習得できるようにする工夫 ・「言葉相談室」が新設されたことによって、文法事項のつまづきやすいポイントを取り上げて教材化し、言語運用の基盤となる知識・技能をしっかりと身につけるように工夫されている。 思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫 ・系統性を重視した学習活動を設定しており、前学年までの学習と関連付けながら各領域の能力の育成を図り、1年間を通してより多様な思考ができるよう構成されている。 学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫 ・各巻冒頭の「国語の学習の進め方」には、言葉の力を身に付けることが大切であることと、既習との関連を意識して単元の見</p>

通しをもてるようにすることが説明されている。

読書に親しむための態度を育成するための工夫

- ・児童の読書体験を豊かにするために、多様なジャンルの本や著名人の読書体験エッセーを紹介している。また本の一部を掲載するなど、本を手に取りたくなる工夫がされている。

「資料」について

- ・二次元コードで視聴できる資料のタイトルが記載され、話すこと・聞くことのモデル動画、気付きを促すエラーモデル、第1学年における特殊音節の習得に関する動画などを活用できるようになっている。

「表記・表現」について

- ・3年生上巻から分かち書きではなくなり、低学年2年間を通して語彙の習得を重要視するような表記となっている。

「総括」について

- ・各単元で身に付ける資質・能力を「言葉の力」として明示し、それを「見通す」「取り組む」「ふり返る」の3ステップで獲得する工夫がされている。
- ・学習ページでは、上段に学習活動の展開、下段にノート例や対話例など具体的な学びの姿を示し、学習が見渡せるように工夫されている。

「ひろがる言葉 小学国語」(教育出版)

知識及び技能が習得できるようにする工夫

- ・児童が、必要な情報を取り出したり、情報と情報との関係を整理したりできるよう、体系的なまとめのページが新設された。複数の教材で何度も反復して学習することにより、実際に活用できる力が身につくように工夫されている。

思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫

- ・「読むこと」を通して得られる思いや考えを、書きまとめる、伝え合う、報告し合うなどの多彩な言語活動によって表現することで、ねらいに迫ることができるようになっている。

学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫

- ・各巻の巻頭には「〇年生で学ぶこと」として、1年間の学びの見通しと実生活との関連、単元ごとに学習過程に対応した4ステップの「学習の手引き」が示され、指導事項が明確になっている。

読書に親しむ態度を育成するための工夫

- ・「ひろがる読書の世界」という図書紹介のコーナーが、夏休み前の学習時期に新設された。また、「学習のてびき」では、紹介冊数を、現行の教科書の2冊から3冊に増やし、紹介冊数の充実が図られている。

「資料」について

- ・「漢字の広場」では、各学年の学習内容に合わせて漢字学習ノートの書き方や漢字辞典の使い方が示されている。

「表記・表現」について

- ・2年生下巻から分かち書きではなくなり、2年生の1年間を通して、通常表記に適應できるようになっている。

「総括」について

- ・児童が主体的に学ぶことができるように、「学びが見える」「学びがわかる」「学びが生きる」工夫がされている。
- ・「学習のてびき」の中に、学習活動を支える図解や児童の反応例を掲載し、主体的・対話的で深い学びにつながるように構成されている。

「国語」(光村図書出版)

知識及び技能が習得できるようにする工夫

- ・「情報」教材が年間2か所に整理され、重要ポイントが端的にまとめられている。各領域の学習活動と密接に関連させて配置

	<p>されている。</p> <p>思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各領域の学習過程において、児童の「問い」を重要視しており、自らの問いに迫る思考場面により考えを深めることで、思考力・判断力・表現力を育てることをねらいとしている。 <p>学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各巻冒頭の「国語の学びを見渡そう」では学び方が示されており、單元ごとには「問いをもとう」が記載されている。児童が問いをもつことによって主体的な学びが始まり、広がることが強調されている。 <p>読書に親しむ態度を育成するための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・読書によって生活を豊かにする児童を育成するために、読書に関わる力を整理し、読書単元「本は友達」が年間2か所に位置付けられている。 <p>「資料」について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第2学年以上の巻頭には、「ノート書き方」として、着目した叙述や考えの記述例が学年の重点とともに示されている。 <p>「表記・表現」について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2年生では分かち書きの一文節が段階的に長くなり、最終的に通常の書き方になるように移行している。 <p>「総括」について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「学び方が分かる」「学ぶ楽しさがある」「学びがつながる」の3つの柱で、児童が主体的に学べるように工夫されている。 ・学習ページでは、二段構成で上段に活動の流れ、下段に学習ポイントが書かれ、学習を進めやすくするように工夫されている。
会長	質問はあるか。
委員 C	とくに1年生では、はじめて国語と出会うわけだが、つまづかないための手立て等はあるのか。
事務局	1年生では「気付き」を大切にし、つまづきやすいポイントをおさえる工夫やイラストを多く取り入れるなどの工夫で興味をもたせ、できた、楽しいと思える教材などの工夫が見られる。
委員 E	県の学力調査などから、読解力が課題の学校があるが、読解力を身に付けさせる工夫等はあるのか。
事務局	各社500冊を超える本を紹介し、本に慣れ親しむための工夫がされている。また、読んだものを考え説明させるなど、読み解き、生かす教材も充実している。
委員 D	二次元コンテンツが充実しているようだが、実際に授業の中で活用する時間などはあるのか。
事務局	必用に応じて一人一台端末を使用しての活用をしたり、全員が大画面での視聴をしたり、家庭での予習などに生かしたりするなど、様々な時や場での活用が想定される。
会長	次に書写の報告を願う。
事務局	<p>「新編 新しい書写」(東京書籍)</p> <p>知識及び技能が習得できるようにする工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2年生以上では表紙裏に「おかしな〇〇」と題し、字形や文章構成、誤字などをあえて誤った形で示し、技能習得に対し、児童が興味関心を高められるように工夫されている。

思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫

- ・文字列や問い掛けの文で課題への気付きを促したり、「振り返ろう」では話し合う活動を取り入れたりしている。

学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫

- ・「学びを生かそう」は、日常生活や学校生活に生かせる教材を取り上げて、一年間の学習を振り返り、活動できるように工夫されている。

毛筆と硬筆との関連

- ・毛筆の文字の右隣のページには、硬筆でどのように関連付けるか筆順、字形、点画のつながりなどに気を付けて書く活動が設定され、教科書に書き込めるようになっている。

各教科や日常生活との関わりについて

- ・他教科や日常生活においても書写の学習が生かせるように、「生活を広げよう」で手紙やポスター、新聞などの書き方が取り上げられている。

「資料」について

- ・「資料」のコーナーでは、各学年に応じて身近な内容が取り上げられている。

「表記・表現」について

- ・筆順の学習では、文字の筆順やつながりが分かるように点画を色分けして示されている。

「総括」について

- ・前回との違いとして、左利き児童への配慮が見られる。また、教科書のサイズが小さくなり、説明やイラストを減らすなどで内容がシンプルになっている。
- ・「書写のかぎ」で学習内容を明確にし、自らねらいに気付くよう工夫されている。

「小学 書写」(教育出版)

知識及び技能が習得できるようにする工夫

- ・全学年に「書いて伝え合おう」を設定し、書写で学習したことを生活や授業の中で生かせるよう系統的に示されている。

思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫

- ・文字を比べて話し合ったり、気付いたことを伝え合ったりして表現力を高め合う学びが設定されている。

学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫

- ・学習の進め方を①～④の4ステップで表し、具体的な手順を示している。スモールステップで具体的な学習の進め方を示し、主体的に取り組ませるよう工夫されている。

毛筆と硬筆との関連

- ・毛筆学習の前後に、「ためし書き」と「まとめ書き」を硬筆で教科書に書き込めるようになっている。その際、筆順、字形、点画のつながりなどポイントがわかるように工夫されている。

各教科や日常生活との関わりについて

- ・手紙やはがき、お礼状などの書き方を学年の発達段階に応じて扱っているため、日常生活で活用できるようになっている。

「資料」について

- ・全学年において、「知りたい文字の世界」のコーナーがあり、書写に関する知識に触れることができるようになっている。

「表記・表現」について

- ・筆圧を大中小で示し、点画の筆使いを表している。

「総括」について

- ・前回との違いとして、低学年の課題の文字が、大きめになっている。また、学習のステップを7段階から4つのステップとした。
- ・「ここが大切」で学習内容を的確におさえさせ、「考えよう」で児童に考えさせ、思考力を高める工夫をしている。

	<p>「書写」(光村図書出版)</p> <p>知識及び技能が習得できるようにする工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各学年の「書写 広げたい」では、原稿用紙の使い方や、マスや行の中に字を収める書き方、文字の大きさや配列などの技能が赤字で示されている。 <p>思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「たいせつ」を提示し、学習のねらいをおさえ、自らねらいに気付けるようにしている。 <p>学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎時の学習過程「学習の進め方」を「1 考えよう」→「2 確かめよう」→「3 生かそう」と自己評価で構成し、型を定着させ見通しをもたせて主体的に取り組めるように工夫されている。 <p>毛筆と硬筆との関連として</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「生かそう」では、毛筆で書いて学んだことを硬筆に生かせるように、教科書に書き込む欄がある。 <p>各教科や日常生活との関わりについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・手紙、掲示物などの書き方などが発達段階に応じて取り上げられており、各教科の学習や日常生活において活用できるようになっている。 <p>「資料」について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各学年で「書写 広げたい」を設け、他教科への広がり掲載されている。 <p>「表記・表現」について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毛筆教材では、穂先の動きが赤で示されている。 <p>「総括」について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前回との違いとして「みずふででかいてみよう」のページがある。また、「たいせつ」のところは、文章と文字の絵が一緒に書かれている。 ・「たいせつ」で学習内容を的確におさえさせるとともに、巻末に『「たいせつ」のまとめ』として「たいせつ」の内容を一覧で振り返ることができるように工夫されている。
会長	質問はあるか。
委員 C	二次元コードを読み取ると、どのような内容となっているのか。
事務局	書き方や姿勢、模範となる字などが動画や写真で確認することができ、容も充実している。見たい時に手本などを繰り返し視聴することができ、主体的で深い学びとなる。
委員 A	わかりやすくするための色分け等の工夫があるとのことだが、色覚等への配慮なされているのか。
事務局	各社、色覚への配慮を行っている。また、分かりやすい紙面構成や左利きへの配慮など、誰もが学びやすい工夫がある。
会長	次に社会の報告を願う。
事務局	<p>「新しい社会」(東京書籍)</p> <p>知識及び技能が習得できるようにする工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習上重要なキーワードを「ことば」として明示し、学習内容の確実な習得に役立てられるように工夫されている。巻末には、学習事項の確認に用いることができる「さくいん」が設けられている。 <p>思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・単元の終わりの「生かす」というページにおいて、学習したことをふまえて社会的な事柄に参画・提案することができるよう

に、自分たちにできることを考えたり、選択・判断したりする場面が設けられている。

学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫

- ・「SDGs わたしたちがつくる未来」をデジタルコンテンツに設け、映像などをもとに学べるようにしている。また、「SDGs について考えよう」等を掲載し、学習したことと SDGs の目標を関連付けて考えられるようにしている。

学習の問題を追及・解決する活動の充実を図るための工夫

- ・「学習の進め方」を設け、「つかむ」「調べる」「まとめる」「いかす」学習の流れについて、学習段階ごとの留意点や活動等を具体的に示し、問題解決的な学習を進めることができるよう工夫されている。

「資料」について

- ・写真やイラスト、表やグラフの他、ワイド版の紙面や折込ページなどを収載し、それぞれの資料に資料番号が付けられている。

「表記・表現」について

- ・「つかむ」「調べる」「まとめる」「いかす」の学習段階を色分けして、各段階の学習活動が明確に示されている。

「総括」について

- ・単元ごとに授業段階を示すことで、問題解決的な学習を促すよう工夫されている。
- ・全学年を通して、社会的事象の見方・考え方を意図的に働かせる問いや投げかけが設定されている。

「小学社会」（教育出版）

知識及び技能が習得できるようにする工夫

- ・「まとめる」ページでは、追究の帰結を「座標軸」や「ダイヤモンド・ランキング」などの「思考ツール」の手法で整理する活動を位置付けることで、学習内容の習得・定着が図れるように配慮されている。

思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫

- ・「つなげる」ページでは、社会的な「選択・判断」や、地域や社会のこれからのための「構想」など、対話的な活動例が紹介されている。

学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫

- ・「SDGs とつなげて考えよう」を全学年で取り上げ、学習内容を SDGs の視点から振り返り、これからの地域社会や暮らしのあり方について主体的に考えることができるように工夫されている。

学習の問題を追及・解決する活動の充実を図るための工夫

- ・「社会科の学習の進め方」では、「つかむ」「調べる」「まとめる」「つなげる」の学習段階が明記されており、「わくわく！社会科ガイド」では、学び方が示されている。

「資料」について

- ・「まなびリンク」として、二次元コードから学習内容に関する動画やクイズ、ワークシート、補足資料などを閲覧できるようになっている。

「表記・表現」について

- ・「学びのてびき」のコーナーで、学習を進めるときに必要な技能について掲載し、学習をスムーズに進めることができるよう工夫されている。

「総括」について

- ・様々な資料やデジタルコンテンツにより関心や意欲を高め、主体的に楽しく学習できるよう工夫されている。
- ・「学びのてびき」「キーワード」などが多く設定され、知識・技能の定着が図れるよう工夫されている。

「小学社会」（日本文教出版）

知識及び技能が習得できるようにする工夫

- ・「やってみようコーナー」では、知識や学習技能を確実に習得できるように、学習や生活の基盤となる知識をくり返し使ったり、地図帳で調べたり、作業をしたりすることを促している。

思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫

- ・社会的事象の特色や相互の関連、意味を多面的に考えるコーナーや、社会に見られるような課題を把握して、解決に向けて社会への関わり方を選択・判断して表現する力を養えるコーナーが随所に設定されている。

学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫

- ・「考えよう！SDGs コーナー」を新設し、学習内容と関連付けて、課題や解決するための取り組みを示したり、巻末付録の「SDGs 目標シール」を活用し、学習内容や考えを深めたりできるように工夫されている。

学習の問題を追及・解決する活動の充実を図るための工夫

- ・協働的な学びを「深め合い」の活動として漫画形式で例示したり、実際の活動の様子を閲覧できる二次元コードを示したりして、主体的・対話的で深い学びができるように工夫されている。

「資料」について

- ・資料の年次や出典等を明らかにして、見開きごとに資料番号が付けられている。

「表記・表現」について

- ・中心資料を紙面の上部に示すことで、児童の社会的事象に対する興味・関心や問題意識を高めるとともに、見通しをもって主体的に学習が進められるよう工夫されている。

「総括」について

- ・随所に児童の発言の例示があり、学習や思考の流れをサポートするよう工夫されている。
- ・「さらに考えたい問題」が設定されていることで、学びに連続性が生まれ、問題解決的な学習が促されるよう工夫されている。

「新編 新しい地図帳」（東京書籍）

知識及び技能が習得できるようにする工夫

- ・「地図のきまり」や「地図帳の使い方」を設け、地図記号や索引、方位、縮尺地形表現等、基本的な地図の読み方が解説されている。また、各ページに距離や方位が示され、地図を正確に読み取れるよう工夫されている。

思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫

- ・列島広域図を利用することで、海に囲まれ、多様性に富んだ日本列島の姿を広く見渡すことができる。また、日本の100万分の1の地図には土地利用を入れて、各地の土地の姿が分かるように工夫されている。

学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫

- ・社会科以外の教科でも地図帳を活用できるように、他教科の学習内容と関連付けて学習できるように工夫されている。

地図・資料の特徴について

- ・デジタルコンテンツのドローン動画では俯瞰して土地の様子を眺めたり、撮影した方向を画面下の矢印で切り替えたりできるように工夫されている。

「資料」について

- ・学習テーマに沿った地図が、複数収録されている。

「表記・表現」について

- ・産業や貿易だけではなく、歴史や伝統文化に関わる内容が掲載されており、過去や現在の世界の様子等を捉えることができるよう工夫されている。

	<p>「総括」について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「空からまちを見てみよう」や「地図のきまり」、多様な二次元コンテンツが設定され、児童の発達段階に応じた指導が促されるよう工夫されている。 ・資料ページでは、日本の自然や産業、貿易、歴史などテーマに沿ったコーナーが設けられている。 <p>「楽しく学ぶ 小学生の地図帳」(帝国書院) 知識及び技能が習得できるようにする工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「地図のやくそく」や「地図帳の使い方」を設け、初めて地図にふれる児童が確実に基礎を身に付けられるよう、スモールステップで解説されている。また、発達段階に配慮して地図を使い分けられるよう工夫されている。 <p>思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「日本の自然災害と防災」では、過去に日本で起きた自然災害を広く挙げ、児童が自分の地域の防災について考えられるよう、防災マップ作りの手順が示されている。 <p>学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大切なポイントを、児童の視点に立ったキャラクターの台詞によって示唆したり気付かせたりすることで、地図帳に親しみをもてるよう工夫されている。 <p>地図・資料の特徴について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「地図で世界発見!」、「地図で日本発見!」のページを設け、3年生の発達段階を意識した学習の導入となっている。 <p>「資料」について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・統計資料等は、最新のデータが記載されている。 <p>「表記・表現」について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・関連のある資料を並べて割り付け、児童が複数の資料を関連付けて考えられるよう工夫されている。 <p>「総括」について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「トライ!」「地図マスターへの道」などのコーナーや、デジタルコンテンツの動画など、児童が楽しく主体的に地図を使用できるように工夫されている。 ・資料ページでは、自然、災害と防災、産業、貿易等幅広いテーマに沿ったコーナーが設けられている。
会長	質問はあるか。
委員 D	SDGs に関わる内容について報告があったが、具体的にどのように扱われているのか。
事務局	各単元の学習の中で、SDGs に関連する内容については、アイコンが付いていたり、コラムなどの資料が掲載されていたりする。また、学習内容の発展として自分たちでできる SDGs の取組について考え、記述する欄が設けてある等の工夫がされている。
委員 A	社会科では課題を解決するために調べ学習を行うことが多いが、資料はどのように掲載されているのか。
事務局	教科書にも図や表などの資料が掲載されているが、それぞれの会社で一人一台端末を活用した映像や画像などの資料が豊富に準備されている。子供たちは二次元コードを読み取ることで、各自が資料を見ることができる。また、すべての單元ではないが、ワークシートも資料としてある。
委員 E	3年生から地図帳を使用すると思うが、3年生でもわかりやすく地図帳を活用できるような工夫はあるのか。

事務局	<p>キャラクターがセリフを交えて説明しており、セリフを読むことで3年生でもわかりやすく地図帳の使い方を覚えることができる。また、二次元コードを読み取ることで、地図に関連した資料を端末から見ることもできる。</p>
会長	<p>次に算数の報告を願う。</p>
事務局	<p>「新しい算数」(東京書籍)</p> <p>知識及び技能が習得できるようにするための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校や日常生活との関連を重視し、問題解決の内容が身近で考えやすく、これからの生活にも生かすことができる内容になっている。キャラクターの吹き出しや補助発問を丁寧に設けて、分かりやすく自力解決ができるよう工夫されている。補充問題が難易度別に2種類用意されており、個別最適化された学びに活用することができるように工夫されている。 <p>思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・様々な解決方法について、図や式等を用いて、分かりやすく説明している。ブロックなどの半具体物の操作や筆算の手順の説明と、式を図解した説明が対応している。数直線を多く取り上げ、数量関係を捉えやすくしている。学びが深まるようなノートの取り方も具体的に例示されている。 <p>学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「いかしてみよう」「おもしろもんだいにチャレンジ」では、発展的な問題が出題されており、既習内容をもとに考えを深めることができる。上巻の巻頭「私と算数」には、著名人の算数との関わりが掲載されており、算数の学習の重要性を伝えている。 <p>数学的活動を充実させるための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・上巻巻頭に「学びのとびら」や「今日の深い学び」で、数学的活動をもとに問題解決する過程が示されている。 <p>「資料」について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「マイノート」が全学年に掲載されており、ノートの取り方を学べる。 <p>「表記・表現」について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習のまとめりにとって課題とまとめが表記されている。 <p>「総括」について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各単元が無理なくスモールステップで進められるよう構成となっており、理解が深まるよう工夫されている。また、数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を基盤とした単元構成になっている。 ・多くのページの下部に二次元コードが付いており、そのページの内容を復習できるよう工夫されている。 <p>「たのしい算数」(大日本図書)</p> <p>知識及び技能が習得できるようにするための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習のめあてを毎時間示しており、本時の学習内容を明確に意識しながら学習が進められるように工夫されている。巻末補充問題「プラス・ワン」や適用問題が充実している。また、リンクマークやインデックス、索引等により、既習事項を振り返りながら自分で学習を進められるように工夫されている。 <p>思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・紙面上の図や式を簡潔に示し、児童に考えを読み取る活動ができるようにしたり、テープ図や数直線図等の思考ツールのかき方を丁寧に繰り返し示したりしている。単元末の問題の最後には、単元のふり返りを書くことを促している。 <p>学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・巻頭に「算数の大切な考え方」が掲載されていて、まとめに使ったり、後で見返して活用したりできるように工夫している。

単元の最後に「算数たまたまばこ」「まなんだことを生かそう」「おうちで算数」があり、学習した内容を生活場面で確かめたり、発展的な学習に活用したりできるようにしている。

数学的活動を充実させるための工夫

- ・「ひらめきアイテム」によって、数学的な見方・考え方を活用しながら数学的活動に取り組み、考える楽しさが感じられるように工夫されている。

「資料」について

- ・吹き出しの箇所の人や定規などが、イラストではなく写真で掲載されている。作図の仕方は実写動画がある。左利きにも対応している。

「表記・表現」について

- ・児童が見いだすこと、先生が教えることが赤枠と青枠で区別されている。

「総括」について

- ・1年生以外は年間1冊でまとめられており、具体的で丁寧な紙面構成となるよう工夫されている。1年生①巻は、教科書をフラットに開けるため、ブロックやおはじきが操作しやすいつくりになっている。
- ・デジタルコンテンツが豊富。多くのページの下部に二次元コードが示され、そのページの内容を補充・深化できる構成になっている。また、「プログラミングにちょうせん！」のページが全学年にある。

「みんなと学ぶ 小学校算数」(学校図書)

知識及び技能が習得できるようにするための工夫

- ・単元末に「できるようになったこと」、巻末に「もっと算数」を設けて、補充的・発展的に課題に取り組むことができるように構成されている。「ふりかえろう」では、その単元で見付けた典型的な「考え方」を振り返ることができるように工夫されている。

思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫

- ・既習事項をもとに子供が考えやすい構成になっている。「図や表を使って問題を考えよう」を全学年に配置し、図や表の使い方が系統的に学べるように工夫されている。「ふりかえろう つなげよう」のページでは、学習内容を発展的・統合的に捉え直し、深い学びにつなげられるようにしている。

学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫

- ・「算数をつかって」では、算数で身に付けた力を使って様々な問題に取り組む課題を扱うことで、学びに向かう力を育み、人間性をより豊かなものにすることができるようにしている。

数学的活動を充実させるための工夫

- ・数学的な見方・考え方をモンスターとして取り入れて、子供たちにとって親しみやすく分かりやすく工夫されている。

「資料」について

- ・「考え方モンスター」など、児童が親しみやすいキャラクターが使われている。

「表記・表現」について

- ・単元の導入をカラーページとし、区別できるように工夫されている。

「総括」について

- ・単元が細分化されており、学んだ知識・技能を確認・活用する中で、さらに新たな問いを提示していくなど、児童に寄り添った展開が工夫されている。
- ・二次元コードには、活動に応じたマークがあり、内容が分かりやすいように、配慮されている。また、プログラミング的思考について取り組めるページが設けられている。

「小学算数」(教育出版)

知識及び技能が習得できるようにするための工夫

- ・単元導入の「きっかけ」のページでは、身近な場面から問題を発見し、算数の問題としてモデル化し、目的意識を持って数学的活動に取り組めるように工夫されている。巻末には補充問題として「きほんの問題」「ジャンプ問題」があり、それぞれの学習進度に合わせて取り組めるよう工夫されている。

思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫

- ・「はてな→なるほど→だったら」で問題解決の過程が示されている。特に「だったら」の「つながるミカタ」では、学びの深まりを実感しやすいつくりになっている。また、単元末の4コマ漫画で、学んだことのよさや見方・考え方を印象強く振り返ることができるように工夫されている。

学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫

- ・導入「どんな学習がはじまるかな」では、児童が身近な題材から算数の問題を発見し、「学んだことを使おう」「算数ワールド」等では、学習したことを活用して日常場面の問題を解決したり、発展的に考えたりすることで、算数への興味・関心を高める工夫がされている。

数学的活動を充実させるための工夫

- ・「学びのマップ」や「考えるヒント」を設定し、ふり返りなどの学習に自分で取り組めるように工夫されている。

「資料」について

- ・教科書の表紙に「算数アニメ」の二次元コードから、数学的な見方・考え方につながる動画を見ることができる。

「表記・表現」について

- ・たしかめ問題のところには自己評価ができるマークが付いている。

「総括」について

- ・児童の問いを重視した学習過程で学びを進め、問題発見力、問題解決力、問題追究力を育てるよう構成されている。
- ・二次元コードからグラフをかく学習や図形の学習で活用できる動画を見ることができる。「まとめ」には、全て二次元コードが付いている。

「わくわく 算数」(新興出版社啓林館)

知識及び技能が習得できるようにするための工夫

- ・巻末に2段階レベルの「もっと練習」のページが設けられ、習熟度別学習に対応できるようにしている。練習や復習のページも計画的に配置されている。学びのつながりを感じながら進められるよう、巻頭の「もくじ」や巻末の「学びをつなげよう」で既習事項とのつながりが示されている。

思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫

- ・文章題を多く扱っている。また、問題によって様々な種類の図を系統的に学べるつくりになっている。巻末の「学びをつなげよう」では、前の巻までの学習事項と本冊でのつながりがまとめてあり、既習事項をいつでも確認することができるように工夫されている。

学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫

- ・単元の終わりに「学びのまとめ」として、「たしかめよう」、「ふりかえろう」「学びをいかそう やってみよう」の流れで学習したことを復習し、その後活用できる発展的な問題に取り組みせ、算数への興味・関心を広げられるよう工夫されている。

数学的活動を充実させるための工夫

- ・児童の問いや気付きを「めばえ」として提示することで、自ら課題を発見し、新たな数学的活動ができるように工夫されている。

	<p>「資料」について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全学年の巻末に資料のページが設けられている。 <p>「表記・表現」について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・めあてがつぼみ、見通しや考え方が双葉、まとめや大事なことが花のマークになっていて関連性がある。 <p>「総括」について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・既習事項を確認して新しい学習へと向かうスパイラルの構成や、「練習」「復習」コーナーの設定で、確かな理解の定着が図れるように工夫されている。 ・単元ごとのデジタルコンテンツには、授業を1時間受けているように説明している解説動画がある。 <p>「小学算数」(日本文教出版)</p> <p>知識及び技能が習得できるようにするための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「次の学習のために→単元→学習をたしかに→復習」といったつながりを大切にした単元構成になっている。巻末に「〇〇までに学習したこと」として既習事項が整理されており、理解を深めたり新たな学習の手助けとなったりする工夫がされている。 <p>思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・図形のシミュレーションが豊富で、図形を操作することでイメージがしやすい工夫がされている。ブロックなどの半具体物の操作や筆算の手順の説明と、式を図解した説明が対応している。4～6年生の割合の問題では、数直線にしばって説明されている。 <p>学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「算数で使いたい見方・考え方」、裏面が「学び方ガイド」という、切り離して使える資料がついており、学習の参考となる手立てが書かれている。巻末の「算数マイトライ」では、3段階の問題が掲載され、実態に応じて自分で取り組むことができるように工夫されている。 <p>数学的活動を充実させるための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・単元の初めの中心問題のページでは、自分の考えと比較して、より深く考えることができるように、様々な解法について、図や式で説明されている。 <p>「資料」について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・表紙が各学年の内容と関連付けられたものになっており、繋ぐと算数の街が現れる。 <p>「表記・表現」について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・次の単元に入る前に、前学年までの復習が掲載されており、どの学年の何の単元かが明記されている。 <p>「総括」について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ページ側注の学習のステップや巻末の「学び方ガイド」、「見方・考え方」を示すことで、主体的・対話的で深い学びの実現につながる構成になっている。 ・二次元コードには、「ヒントと答え」「練習」などの見出しが付いている。また、全学年で系統的にプログラミング単元が設定されている。
会長	質問はあるか。
委員 D	全ての出版社で二次元コードまたは、デジタルコンテンツが付いているが、どのような効果があるのか。
事務局	二次元コード及びデジタルコンテンツを読み取ることで、その場で図形やグラフなど視覚的にとらえ、考えを深めることができる。また、その内容を補充・深化できるものもあり、復習に活用できる。

委員 C	東京書籍では、「マイノート」が全学年に掲載されているが、どのような内容になっているか。
事務局	ノートのどの場所にどんなことを書けばよいかを示されている。また、ノートづくりをする際のくふうも示されている。さらに、コンピュータを使った際の記録の方法も示されている。学習の記録を残して、学習のふり返りや新しい問題の解決などに生かせるものとなっている。
委員 A	数学的な見方・考え方を働かせた活動とあるが、どのような活動をさせているのか。
事務局	児童が、ある事象に対して数量や図形及びそれらの関係などに着目して捉え、根拠を基に筋道を立てて考え、学習した内容を統合的・発展的に考えていく活動のことである。
会長	次に理科の報告を願う。
事務局	<p>「新編 新しい理科」(東京書籍)</p> <p>知識及び技能が習得できるようにするための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 単元末に、「ふりかえろう」と「たしかめよう」が両面の状態で掲載しており、自分で身につけた知識・技能を確認しながら学習できるように工夫されている。「ふりかえろう」は前回には無く、「知識・技能」の観点でふりかえることができるようになっている。 <p>思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 単元末の「たしかめよう」では、「分析・解釈」「構想」「検討・改善」を確かめる問題が用意されており、思考力の高まりをふりかえることができるようになっている。 <p>学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 単元の最初の「レッツトライ!」では、活動したり、写真や絵を見たりして、疑問を見つけ、主体的に問題がつかめるようにしている。 <p>見通しをもって観察、実験を行うための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 問題解決の過程を1本の「学びのライン」でつなぎ、「一段組み」で示すことで、自然な目線の流れで読み進めることができるようにしている。 <p>自然の事物・現象についての問題を科学的に解決するための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 予想や計画の場面では、児童の生活経験や既習事項の知識をもとに考えられるように、「理科の見方・考え方」を働かせるヒントを具体的に示している。 <p>「資料」について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 巻末に「理科の調べ方を身につけよう」として、実験器具の使い方・手順が掲載されている。また、算数科とのつながりについても触れている。 <p>「表記・表現」について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「まとめ」は行間が広くとられた大きな文字で、箇条書きで書かれている。 <p>「総括」について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 単元導入では、簡易的な体験や豊富な資料を示して、児童の興味・関心を高め、主体的な学習が進められるようになっている。 ・ 巻末に「理科とプログラミング」を設け、プログラミング的思考を育むことができるようにしている。 <p>「新版 たのしい理科」(大日本図書)</p> <p>「内容」について</p> <p>知識及び技能が習得できるようにするための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 実験・結果の後、「考えよう・考察」で話し合いをもつ場面が

設定されており、その結果を「わかったこと・結論」としてまとめられている。重要語句や大切なことは、結論の後方に区別して掲載している。

思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫

- ・児童の表現力を育成するために、巻末に「理科のノートの書き方」「記録と整理のしかた」が掲載されている。

学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫

- ・「やってみよう!」「ふしぎだな?」と思える場面設定がされており、ダイナミックな写真により、児童の興味関心が高まる工夫がされている。

見通しをもって観察、実験を行うための工夫

- ・「理科の学び方」を巻頭に設定し、問題解決学習の流れを色分けして示すことで、見通しをもって学習を進められるようにしている。

自然の事物・現象についての問題を科学的に解決するための工夫

- ・理科の見方につながる着目点を、「ココに注目」で示しており、児童自身が理科の見方を働かせて、科学的に問題を解決できるよう工夫されている。

「資料」について

- ・巻末の「使い方をおぼえよう」では実験器具の使い方を示し、確実な技能の習得を図っている。また前後の学年や算数科とのつながりを取り扱っている。

「表記・表現」について

- ・問題文を緑、わかったことやまとめを青の背景色にしている。

「総括」について

- ・A4版で紙面を大型化し、全単元で問題解決の全過程を示しており、流れがつかみやすく問題解決の力が自然とつくようになっている。
- ・観察・実験では、実験方法を増やしてより多くの実験方法から得た結果を基に多面的に考えることができるような工夫がみられる。

「みんなと学ぶ 小学校理科」(学校図書)

知識及び技能が習得できるようにするための工夫

- ・「結果」をもとに考察があり、それをうけての「わかったこと」が示されている。「わかったこと」の後に、ふりかえりがあり、学習した知識を確認できるように工夫されている。実験・観察の部分では、背景が色つきになっていて、目を引きやすくなっている。

思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫

- ・「問題を見つけよう」「結果から考える」では、対話の場面が多く設けられており、自分の言葉で表現することで深い理解につながるようにしている。

学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫

- ・6年の冒頭に「環境と私たちの暮らし」を新設し、学年を通して多面的に考え、暮らしや環境という大きな視点で学習できるようにしている。

見通しをもって観察、実験を行うための工夫

- ・観察や実験では、「手順を示す文」と「観察の視点や配慮、注意」を分けてあり、写真や図も多く示され、分かりやすいように配慮されている。

自然の事物・現象についての問題を科学的に解決するための工夫

- ・考察では、情報共有や伝え合いの手段を多様化し、考える視点を示すことで、児童が科学的に考えやすいようにしている。

「資料」について

- ・導入・実験時に二次元コードがあり、実験に使う器具や、その取り扱い方の動画が掲載されている。

「表記・表現」について

- ・育成を目指す「資質・能力」を「理科モンスター」として示している。
- 「総括」について
- ・目指す資質・能力を「理科モンスター」として示し、キャラクターに親しみながら楽しんで理科の学びが進められるようになっている。
- ・学んだことを単元の中で完結させず、考え方をちがう場面でも生かせるように「学びを生かす」などの表記でわかりやすく示す工夫がみられる。

「未来をひらく 小学理科」(教育出版)

知識及び技能が習得できるようにするための工夫

- ・「ふり返ろう」と「確かめよう」が見開きで示されている。「ふり返ろう」では、重要語句がマーカーで色づけされ、目にとまりやすい工夫がされ、知識の定着につながるようになっている。
- 思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫

- ・「見方のカギ」「考え方のカギ」のマークを用いて見方・考え方を働かせる際の参考になるようになっている。

学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫

- ・単元導入では、児童が活動している様子や不思議を感じさせる写真などを精選し、児童の気づき、「なぜ？」から学びが始められるようになっている。

見通しをもって観察、実験を行うための工夫

- ・各単元の導入では、児童が発想するためのヒントを、話し合いの中で気づけるようしており、観察や実験では、具体的な写真が示されている。

自然の事物・現象についての問題を科学的に解決するための工夫

- ・考察では、科学的に考えるための「考え方のカギ」が示されており、結果から自分の予想が確かめられたかを考えられるようになっている。

「資料」について

- ・観察・実験の解説動画や、実験器具の使い方の動画が二次元コードからみられるようになっている。

「表記・表現」について

- ・「問題」「観察・実験」「結論」が同じ色で統一されている。

「総括」について

- ・問題解決の流れがわかりやすく、児童が自分の考えをもち、互いに対話することにより見通しをもって学ぶことができるようになっている。
- ・単元末に新設された「ふり返ろう」では学んだことを簡潔にまとめてあり、学習後に児童が自分で復習するなど、次の学びにつながる工夫がみられる。

「わくわく理科」(興出版社啓林館)

知識及び技能が習得できるようにするための工夫

- ・単元末には、「まとめノート」と「たしかめよう」が示され、ふり返りながら知識と技能の確実な定着を図っている。また、「まとめノート」の下欄には、「新しく学習した言葉」がチェック欄つきで掲載してあり、重要語句の確かめができるよう工夫されている。

思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫

- ・問題解決の過程を「見つける・調べる・まとめる」の3段階の「学びのサイクル」で示し、学びが積み重なり深まるように構成されている。

学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫

- ・自然を愛する心情を養うようにSDGsやSTEAMの説明、「自然を大切に」マークなどにより、理科を学ぶ意義・有用性を伝えている。

	<p>見通しをもって観察、実験を行うための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「はじめに考えよう」では、理科の概念や問題発見を大切にし、学びのサイクル、学びのラインにそって見通しをもって学習できる工夫がされている。 <p>自然の事物・現象についての問題を科学的に解決するための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「考察しよう」では、対話的・協働的な活動を充実させることで、納得解を導き出し、科学的な解決へと結びつける工夫がされている。 <p>「資料」について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・巻末の「わくわく CBT チャレンジ」では、タブレットで解く問題があり、CBT 化への対応がなされている。また、「ものづくり広場」では、身近なもので実験道具を作る方法が載っている。 <p>「表記・表現」について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「問題」「まとめ」等の表記はメインカラーを設定している。 <p>「総括」について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・話し合いの活動では、キャラクターの吹き出しに見方・考え方マーカーが引かれ、主体的に理科の見方・考え方をはたかせることを支援している。 ・学んだことがくらしにつながる「くらしとリンク」を全単元末で掲載し、日常生活に関連した話題を多数掲載して、理科を楽しく学べる工夫がみられる。
会長	質問はあるか。
委員 C	「啓林館では、自然を愛する心情を養うように SDG s や STEAM の説明」とあるが、STEAM とは何か。
事務局	S は Science (サイエンス)、科学。T は Technology (テクノロジー)、道具や装置、そしてその方法や技術。E は Engineering (エンジニアリング)、基礎科学を生産に応用。A は Art (アート)、アート、デザイン。M は Mathematics (マセマティクス)、算数・数学。つまり理数教育に、A (Art/Arts) の創造的な教育を加えた、分野横断的な学びを指す。
委員 D	実験や観察を安全にするための注意事項や各社の記入の内容について、どのような話し合いがあったか。
事務局	実験、観察を安全に実施することは大変重要なことと考える。各社の「注意」「危険」のマークや実験の写真やイラストがどのように、掲載されているか話し合いがおこなわれた。
委員 E	理科の授業で児童の興味関心を引くための工夫はされていたのか。
事務局	写真や絵、または、キャラクターなどを入れることで理科の内容に親しみやすくするなどの工夫がされていた。
会長	次に生活科の報告を願う。
事務局	<p>「新編 あたらしい生活」(東京書籍)</p> <p>知識及び技能が習得されるようにするための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・無自覚だった気付きが自覚化される児童の姿やその気付きが相互に関連づく児童の姿が、写真や挿絵、吹き出し、表現作品などで具体的に示されている。「やくそく」や「かつどうべんりてちょう」は、学習活動や生活に即した習慣や技能を身に付けるのに役立つように示されている。 <p>思考力・判断力・表現力等を育成するための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・イラスト比較ができるページの構成になっており、「見付ける」

「比べる」「たとえる」など、気付いたことを基に分析的に考えるための多様な学習活動例が、写真や挿絵、吹き出し、表現作品などで示されている。

学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫

- ・思いや願いの実現に向けて粘り強く取り組む様子や状況に応じて学習の調整をしている様子、活動を繰り返し自身の成長や満足感、成就感などの手ごたえを次の活動や生活に生かそうとしている児童の姿が、写真や挿絵、吹き出し、表現作品などで示されている。

具体的な活動や体験を通して気付きの質を高めるための工夫

- ・「かんさつずかん」（みつける、くらべる、たとえる）と「かつどうべんりてちょう」（みつける、くらべる、たとえる、ためしてみよう、見通しをもとう）で気付きを質的に高める視点やヒントを提示している。

「資料」について

- ・「ほんとうのおおきさいきものずかん」では、本物と同じ大きさで詳しく描かれているため、実物と照らし合わせて観察することができる。

「標記・表現」について

- ・「小単元名」「本文」「やくそく」「ずかん」などの位置が全ての単元で同位置に配置され、全ての児童が安心感をもって授業が受けられるように配慮されている。

「総括」について

- ・デジタルコンテンツが大幅に拡充され児童の興味・関心や学習意欲を喚起し学びを深める工夫がされている。
- ・SDGsの取り扱い方について edutown 小学生向け特設ウェブサイトがあり、学びを広げる工夫がされている。

「新版 たのしい せいかつ」（大日本図書）

知識及び技能が習得できるようにするための工夫

- ・「がくしゅうどうぐばこ」には、活動や体験の方法などが紙面及び動画で紹介されており、視覚的に捉えやすく、知識・技能の習得が図れるよう工夫されている。

思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫

- ・「せいかつことば」「キラキラことば」では、児童の思いや考え、気付きを表現する言葉が紹介され、「〇〇めいじん」では、交流・発表活動において児童の言語能力の育成が図れるよう工夫されている。

学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫

- ・単元のつなぎ部分では、活動後の振り返りから、児童の思いや願いをもとに次の活動へとつながるよう工夫されている。

具体的な活動や体験を通して気付きの質を高めるための工夫

- ・観察カードには、目・耳・鼻・手・星のマークが示され、児童に視点を与え、気付きの質を高める工夫がされている。また、「がくしゅうどうぐばこ」では、観察の視点（離れて見る、聞く、かぐ、さわる、並べる、自分と比べる、表と裏で比べる等）を示している。

「資料」について

- ・「ウェブがくしゅうどうぐばこ」には、生き物や草花などのイラストに加え海外の文化に関する写真や実際に動いている生き物の動画も見ることができる。

「表記・表現」について

- ・発達段階に応じた言語表現の例示、教科書に直接記入するページは、書き込み欄が大きく、児童が振り返りしやすく工夫されている。

「総括」について

- ・他教科との関連が矢印によって明記されていて、横のつながりを意識した指導が可能になるように工夫されている。

・ 学び方名人を新設し、具体的な活動の様子が例示されている。

「みんなとまなぶ しょうがっこう 生活」(学校図書)

知識及び技能が習得できるようにするための工夫

・ 各単元において生活上必要な習慣や技能を「やくそく」「ものしりノート」などのコーナーとして示し、活動や体験の中で身に付けることができるよう工夫されている。二次元コードで活動の映像資料などの具体的な活動や体験の方法が示され、方法や手順が視覚的に理解できるよう工夫されている。

思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫

・ 「生活科学び方図鑑」や「ものしりノート」では、学んだことが、「はなす」「きく」「かく」「はっぴょうする」などの言語活動を通して表現を広げたり、学びを深めたりできるよう工夫されている。

学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫

・ 単元末に「もっと」のページを配置し、単元が終わった後も学んだことを生かして、さらなる活動・課題にひろげたり、自身の生活につなげたり、意欲的に活動を持続、発展できるようにしている。

具体的な活動や体験を通して気付きの質を高めるための工夫

・ 「生活科学び方図鑑」や「ものしりノート」では、「さわる」「たとえる」「くらべる」「よくみる」「においをかぐ」「おとをきく」など、体験を通じた気付きの視点を具体的に示している。

「資料」について

・ 「ものしりずかん」では、季節に合わせた資料や、動画・音声で理解を深める工夫がされている。

「表記・表現」について

・ 「見る」「さわる」「たとえる」「くらべる」「よそうする」といった働きかけるポイントをキャラクターのつぶやきとして示すことで思考を促す工夫をしている。また、観察の際の気持ちも書けるよう例示されている。

「総括」について

・ 単元では、「もっと～したい」のコーナーで、多様な表現方法をまとめることを例示し、児童の意欲を引き出し、単元が終わった後も活動が広がるよう構成されている。

・ 生活科の活動の中で、道德の関連を意識し考えられるように配慮されている。

「せいかつ」(教育出版)

知識及び技能が習得できるようにするための工夫

・ 「やくそく」などのコラムや各小単元に生活科で身に付けたい知識や技能の習得を促す「まなびのポケット」の項目番号が示され、巻末の「まなびのポケット」を確認することで他教科とのつながりや表現や技能が広がるように工夫されている。

思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫

・ 単元末の「なにをかんじたかな」では、気づいたことや考えたことなどについて多様な表現活動が示され、他者と伝え合ったり、振り返ったりする活動が繰り返し例示されている。

学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫

・ 児童に人気のキャラクター「いぐら」が学習の友達として、児童の代表として素直な驚き、喜び、困惑をつぶやき、「はっけんロード」をたどって、「はてな」「かんがえまとめいろ」「ぐんぐんはしご」を通して学び方を身に付けて一緒に学習を進めていくことができるようになっている。

具体的な活動や体験を通して気付きの質を高めるための工夫

・ 「学びのポケット」が他教科とのつながりを意識したページとなっていて、過去・現在・未来及びトリの目・アリの目を図で示し多面的な見方や考え方ができるように工夫されている。

「資料」について

- ・「まなびリンク」の二次元コードが「動画」「ワークシート」「ずかん」に一目見て分かるように分類されている工夫があり、授業内でも活用しやすいように工夫されている。

「表記・表現」について

- ・作品カードが大きく見やすい。上巻と下巻初めのページにはカードの上に常にヒントが掲載され表現に生かせるように工夫されている。

「総括」について

- ・動画・ワークシート・デジタル図鑑が充実していて、「はっぴん」コラムと特設ページで中学年以降の理科、社会につながる工夫がされている。
- ・コラムの「やくそく」では知識や技能、マナーを示し、各単元のコラム「ヒント」で「見つける、比べる、たとえば、試す、見通す、工夫する」などの多様な学習方法を繰り返し行えるような工夫がされている。

「せいかつ たんけんたい 光村図書」について

知識及び技能が習得できるようにするための工夫

- ・別冊「ひろがる せいかつ じてん」では、日常生活に必要な習慣や技能、活動の仕方や作り方等がまとめられていて、児童が自発的に確認しやすく工夫されている。

思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫

- ・「見付ける、比べる、たとえば」などの学習活動で分析的に考えたり、「試す、見通す、工夫する」などの学習活動で創造的に考えたりしている児童の様子が写真や作例で豊富に示されている。

学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫

- ・単元末の「たのしいまいにちにつなげよう」で、活動を振り返り自分の言葉で表現することによって、学んだことを日常生活に生かそうとする態度につなげている。

具体的な活動や体験を通して気付きの質を高めるための工夫

- ・単元末の振り返りページでは、学びを言語化し、個人でまとめることで気付きを自覚したり、関連付けたり、捉えなおしたりしている児童の姿が具体的に示されている。

「資料」について

- ・別冊「ひろがるせいかつじてん」が切り離しでき、児童が自分の目的に応じて活用できる。また、「きせつのなかまたち」では、外へ持ち運びできるようになっている。生き物や草花の実物と照らし合わせて観察することができるように工夫されている。

「表記・表現」について

- ・児童の活動の様子やつぶやきと一緒に記録カードの例を提示していて、児童が迷わず安心して学習できるようになっている。

「総括」について

- ・絵本作家の書下ろしイラストが小单元ごと右側に掲載され、イラストの児童とともに考え気付きの視点が広がるようストーリー展開されている。
- ・全ての小单元末の「ふりかえろう」で「感情」と「知識・思考・態度」の観点を手がかりに表現することで、次の学びにつながる工夫がされている。

「わくわく せいかつ」(新興出版社啓林館)

知識及び技能が習得できるようにするための工夫

- ・「がくしゅうずかん」には、調べ方・記録の仕方・まとめ方、道具や用具の使い方、安全上の注意などが示されていて基本的な知識及び技能や学び方が身につくように工夫されている。

	<p>思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生活の中からの気づきを刺激する「わくわく」、もっと知りたい・調べてみたいと深める「いきいき」、自分でやってみる・表現してみる「ぐんぐん」の3段階で構成され、思いや願いの実現に向けて繰り返し考えたり表現したりしながら、学びを深めていけるように工夫されている。 <p>学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「めくり言葉」では、活動から生まれた気づきや次の活動への思いや願いを示している。また、単元末の「ひろがるきもち」では、学習を通して学んだことをさらに深く学ぼうとしたり、生活に生かしたりしようとする姿を提示している。 <p>具体的な活動や体験を通して気づきの質を高めるための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「見付ける、比べる、たとえる、試す、見通す、工夫する」などの気付いたことをもとに考えるための多様な学習活動の例が学びのキーワードとしてマークで豊富に示されている。 <p>「資料」について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・二次元コードから学習活動の例やワークシートをダウンロードできるようになっている。また、デジタルコンテンツとして「学びウェブ」「デジタルたんけんブック」が収録されている。 <p>「表記・表現」について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教科書全体を通して、小単元名、活動の見出し、活動の仕方や様子、学びのヒント、具体的な記録カードの例、「めくり言葉」などの構成、位置を固定化し、全ての児童に分かりやすい紙面になっている。 <p>「総括」について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教室環境と具体的な支援の手立てと評価がイメージしやすくなっていて教師をサポートする工夫が充実している。 ・二次元コードの数が増え、特設サイト「わくわく SDGs」がコンテンツとして用意され17項目すべての解説がある。
会長	質問はあるか。
委員 D	生活科は、小学校1、2年で使用される教科書であるが、保幼小のつながりから、子供たちの学習に対する円滑な接続ができるような工夫はあるのか。
事務局	スタートカリキュラムとして、幼児期の学びと生活を基礎とした内容を扱っている。1年生の教科書では導入期として、小学校の生活の仕方について扱い、それに関連づけて徐々に小学校の学習につながる内容へ移行させている。
委員 D	すべての会社において、スタートカリキュラムが明記されているのか。
事務局	ページに差はありますが、すべての会社において入門期の学習を丁寧につなげるためのスタートカリキュラムが設定されている。
委員 E	興味・関心をもって学習に取り組み、子供たちの理解を深めるために動画資料などのコンテンツがあるという報告があったが、すべての会社でコンテンツがあるのか。
事務局	コンテンツの量に差はあるが、すべての会社において二次元コードを読み取る形で使用できる。学習の約束や動植物の活動の様子を動画や画像で掲載されており、授業に活用することができる。

会長	次に音楽科の報告を願う。
事務局	<p>「音楽のおくりもの」(教育出版) 知識及び技能が習得できるようにするための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・領域、分野ごとの系統性に基づいた教材が配置され、見開きごとに「学習のめあて」や音楽を形づくっている要素「音楽のもと」が示され、学習の振り返りや資料へのリンクを示すアイコンも適宜設定されている。 <p>思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学び方を示唆する「まなびナビ」、学ぶためのヒントやプロセスを示した「学び合う音楽」では、見通しをもって学習できるように工夫されている。 <p>学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習内容を広げる「もっとあそぼう」や全校で楽しめる合唱曲、教科横断的な教材「Short Time Learning」が全学年に配置されている。 <p>生活や社会の中の音や音楽と豊かに関わる資質・能力を育成するための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・我が国や諸外国の音楽では、人々の生活と音楽のかかわりを意識した楽曲が掲載され、表現活動や鑑賞活動を通して、多様な文化に触れることができるよう配慮されている。 <p>「資料」について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・二次元コード「まなびリンク」が示され、WEB上に奏法や解説動画・音源・ワークシート・解説資料などが掲載されている。 <p>「表記・表現」について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・音符や休符、記号などは、各教材の別枠に示されている。巻末には、学習指導要領外の内容「はってん」が掲載されている。 <p>「総括」について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歌唱共通教材は、歌詞から想像される季節感や情景を重視した扱いができるよう「にっぽんのうた みんなのうた」コーナーに配置され、写真や資料から曲の背景を知る手がかりとなるよう工夫されている。 ・学習のめあての重要な言葉を大きくしたり、色覚等への特性をふまえた判読しやすい配色やレイアウトにしたり、特別支援教育の視点に立った配慮がされている。 <p>「小学生の音楽」(教育芸術社) 知識及び技能が習得できるようにするための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歌唱では曲に必要な技能「歌声ルーム」の設定、交互唱から合唱へ、器楽では鍵盤楽器やリコーダーの技能が段階を踏んで学べる構成になっている。 <p>思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・音楽づくりでは、楽器の音色やリズムパターンの組み合わせなど試行錯誤を繰り返しながら論理的に考える力を身に付けられる教材が設けられている。 <p>学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1年間の学習の見通しをもつことができる「学習マップ」や1年間の学習を振り返ることができる「ふり返りのページ」が設けられている。 <p>生活や社会の中の音や音楽と豊かに関わる資質・能力を育成するための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「音楽づくり」では、アイコンや吹き出しで学習の手順や工夫のポイントを示し、題材内の他の教材と関連させ学びをつなげている。音や音楽への興味・関心が音楽科の学習につながるようなコラムや写真も掲載されている。 <p>「資料」について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習サポートのコンテンツ「ムーブの部屋」では、「聴く」「見る」2つの活動を紙面上の二次元コードからICT機器で閲覧で

	<p>きるようになっている。</p> <p>「表記・表現」について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・表現教材や鑑賞教材では、児童の学習段階に応じて絵譜や図形楽譜など、いろいろな種類の譜例が掲載されている。 <p>「総括」について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歌唱共通教材「こころのうた」は、歌詞や曲が生まれた背景が示され、我が国の文化や自然環境の保護などの視点からコラムや写真などが用意されており、生活や社会との関りを捉えやすくなるように工夫されている。 ・楽譜や縦書きの歌詞、文章を写真中に入れる際、無地や単色の部分に配置したり、文字周辺を白くしたりして文字の見やすさが配慮されている。学習に必要な情報に注目できるようイラストや写真の配置も工夫されている。
会長	質問はあるか。
委員 A	音楽でも二次元コードで学習のサポートを促す工夫がされているようだが具体的にどのような内容があるのか。
事務局	実際に曲のメロディーを聴けたり、楽器の演奏の仕方が動画で確認できたりする。また、コラムやワークシートなどの資料も掲載されている。
委員 D	日本の伝統的な音楽に慣れ親しむ歌唱共通教材については、どのように扱われているか。
事務局	コラムや画像が用意されており、歌詞や曲が生まれた背景や日本の文化について学習できるようになっています。
委員 E	学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫として「学習マップ」が報告にあったが、どのような内容か。
事務局	各学年の教科用図書の1ページ目に、1年間の学習内容が「学習マップ」としてまとめられています。主に学習する内容だけでなく学習への意欲付けにつながる説明も書かれています。
会長	では、ここで15分の休憩を入れる。
	【休憩】
会長	それでは、続きをはじめます。
	次に図画工作科の報告を願う。
事務局	<p>「図画工作」（開隆堂出版）</p> <p>知識及び技能が習得できるようにするための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・題材ごとに表現のヒントとなる写真や説明が散りばめられ、必要な情報について、ページ下のマークで学習活動に関する注釈を入れたり、他ページやPC端末を参照したりするようガイドが示されている。 <p>思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・題材の冒頭に題材の目標を提示して発想を促すとともに、巻末資料で材料・用具・技法を例示し、その扱い方・ポイントなど、情報を取捨選択・工夫して表現できるよう配慮されている。 <p>学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会に開かれた教育課程を意識し、学習活動が人々の生活に結びつく様子を示し、図画工作から社会への意識の拡がりを促すよう工夫されている。

表現及び鑑賞に関する資質・能力を相互に関連させた学習を充実させるための工夫

- ・「共通事項」の指導に配慮し、二次元コードから動画を参照し、色や形などのイメージを膨らませ、製作に生かす手法が見られる。

用具の安全な取り扱いについて指導するための工夫

- ・「安全」専用の吹き出しがあり、用具を使う際、作品が完成して皆で遊ぶ際の注意喚起が明示されている。

「資料」について

- ・巻頭の折込による鑑賞資料、巻末の材料・用具・技法の資料コーナーなど、全学年・上下巻の体裁を揃え、児童が使い慣れるよう工夫されている。

「表記・表現」について

- ・各ページの中に枠で囲ったコーナーを多く設け、学習のポイントやヒントとなる記述や図版を示して学習活動が促進されるよう工夫されている。

「総括」について

- ・題材ごとに冒頭で学習の目当てを明示し、重要部分は太字で強調している。題材の導入で示す流れで作成されている。
- ・作品例の写真は大きく、見やすさに配慮したレイアウトになっている。題材の中に異なった作風の作品例を複数掲載し、児童個々の発想を助ける構成となっている。

「図画工作」（日本文教出版）

知識及び技能が習得できるようにするための工夫

- ・題材ごとに表現のヒントとなる写真や説明が多く散りばめられ、必要な材料・用具類はマーク、参考ページは吹き出しで見開きページ下・左に、学習活動に関する具体的なガイドを右に示されている。

思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫

- ・題材の冒頭に題材の目標を提示して発想を促すとともに、随所に吹き出しでヒントを与え、巻末資料で材料・用具・技法の扱い方を示し、必要な情報を選択・工夫して表現できるよう配慮されている。

学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫

- ・社会に開かれた教育課程を意識し、環境に配慮した作品や取組を多く掲載し、図画工作が社会に果たす役割を考えるよう促している。

表現及び鑑賞に関する資質・能力を相互に関連させた学習を充実させるための工夫

- ・「共通事項」の指導に配慮し、見開き2ページをフルに使用して様々な色・形を駆使した製作の様子や作品を数多く例示されている。

用具の安全な取り扱いについて指導するための工夫

- ・「気をつけよう」という吹き出しがあり、作品製作時、特に用具の使い方についての注意喚起が示されている。

「資料」について

- ・児童の発達段階に合わせ、児童作品、専門家の作品などの写真、材料・用具、技法などの図版・説明を数多く掲載し、児童の学習活動のヒントとしている。

「表記・表現」について

- ・マーク、イラスト、吹き出しを駆使して、学習の目当て、学習のヒントなど、視覚的に分かりやすく、かつ、多くの情報が提示・掲載されている。

「総括」について

- ・題材ごとに冒頭で目標を明示し、重要部分は下線で強調されている。児童の活動場面の写真が多く掲載されている。参考作品

会長	<p>数が多く、写真はやや小さめでレイアウトされている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中学校・美術や生涯学習との関わりのあるコーナーを設け、教科の系統性・発展性をもたせている。
委員 C	<p>質問はあるか。</p>
事務局	<p>「用具の安全な取扱いについて指導するための工夫」は、記載されているが、道具の使用方法は、どのように示されているのか。</p>
委員 E	<p>写真等で示している場面もありますが、道具の使い方については、二次元コードより動画により使い方を示している。</p>
事務局	<p>他教科や他学年とのつながりに関する協議は行われたか。</p>
委員 B	<p>協議の話題にはならなかったが、関わりのあるコーナーを設けている場所はあった。</p>
事務局	<p>表現及び鑑賞に関する資質・能力に関して、どのような内容の話題が出たか。</p>
会長	<p>開隆堂では、作家作品を効果的に鑑賞させる単元構成となっているが、日文では題目次の全ての表現作品に鑑賞も併せて示されている。</p> <p>次に家庭科の報告を願う。</p> <p>「新編 新しい家庭科」(東京書籍) 知識及び技能が習得できるようにするための工夫 <ul style="list-style-type: none"> ・単元の導入で身の回りや身近な事例について話し合う活動が設定されており、自分の生活を振り返ることにより、課題が明確になる工夫がされている。 思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫 <ul style="list-style-type: none"> ・「話し合おう」「考えよう」「やってみよう」「調べよう」「深めよう」などの活動が設定されており、自分の考えをもつとともに、友だちと学び合いながら学習を進めていけるように工夫がされている。 学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫 <ul style="list-style-type: none"> ・「日本の伝統」「プロに聞く」などのコーナーが充実しており、日本の生活文化を大切にしたり、キャリア教育と関連させたりすることができる工夫がされている。 実践的・体験的な活動の工夫 <ul style="list-style-type: none"> ・実践につなげるために、すべての調理実習・製作実習の動画が準備されている。 「資料」について <ul style="list-style-type: none"> ・巻頭にある「いつも確かめよう」の資料は、実習前にすぐに見ることができ、安全について確認できる工夫がされている。 「表記・表現」について <ul style="list-style-type: none"> ・環境マークが示され、SDGsにつながる内容について、児童が自ら考えられるように工夫がされている。 「総括」について <ul style="list-style-type: none"> ・「話し合おう」「考えよう」「やってみよう」「調べよう」「深めよう」などの活動を通し、主体的・対話的な学習を進めていけるように工夫がされている。 ・製作品、実習、観察・実験などの例示数が多く、児童の学習意欲の喚起および学習内容を生かす実践意欲の向上につながる工夫がある。 <p>「わたしたちの家庭科」(開隆堂)</p> </p>

	<p>知識及び技能が習得できるようにするための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実習の手順が写真やイラストを用いてシンプルかつ明確に示されている。使用する道具も流れに沿って記載されており、様々な発達特性に配慮されている。 <p>思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「気づく・見つける」「わかる・できる」「生かす・深める」という流れで単元の学習が構成されており、自分ごととして学び、友だちと学び合いながら学習を進めていけるように工夫されている。 <p>学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「伝統」「キャリアインタビュー」等のコーナーが充実しており、日本の生活文化を大切にしたり、キャリア教育と関連させたりすることができる工夫がされている。 <p>実践的・体験的な活動の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「生かす・深める」では、家庭生活での実践例が多く紹介されている。また、学んだことを生活に生かすことができるように、考えを記入できるようになっている。 <p>「資料」について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・巻末のページでは、プログラミングや実践に役立つワンポイントや原寸大で野菜の切り方の目安が表示されている。 <p>「表記・表現」について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・他の題材と関連する点には「関連マーク」や参照ページを示し、学習の見通しをもつ場面が設けられるように工夫されている。 <p>「総括」について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「気づく・見つける」「わかる・できる」「生かす・深める」という流れで単元が構成されており、課題に対して見通しをもって学習できるように工夫されている。 ・実習等で写真やイラストが効果的に活用されており、手順や道具を目で見て確認することができる。様々な発達特性に配慮され、誰にでも分かりやすい構成となっている。
会長	質問はあるか。
委員 C	家庭科は技能教科ということもあり、個人差が出やすいがその差を埋めるための工夫はあるか。
事務局	教科用図書に載っている二次元コードを読み取ることで、裁縫の仕方や調理実習の進め方などに関する映像や画像等の資料を見ることができる。それを活用しながら子供たちの支援を行うことができる。
委員 D	「伝統」「キャリアインタビュー」等のコーナーが充実しているという報告があったが、具体的にどのような内容か。
事務局	日本の伝統的な生活様式について画像やイラストを交えながら紹介している。また、家庭科の学習につながるような職業で働く方のインタビューが載せてあり、今の学びが、将来の社会にどのような影響を与えるか学習することができる。
委員 E	「プログラミング」という報告があったが、具体的にどのような内容か。
事務局	炊飯や洗濯、掃除などの作業の過程と、家電製品のプログラムとの関連を示す内容になっている。
会長	次に体育科（保健）の報告を願う。

事務局

「新編 新しい保健」(東京書籍)
知識及び技能が習得できるようにする工夫
・キーワードが太字になっていたり、難語に解説が付いていたり、豆知識があったりと、必要な知識・技能が見やすく工夫されている。

思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫
・「ステップ3 深める、伝える」では、本時で学んだ知識を活用し、自分の言葉で表現でき、また、ペアやグループでの話し合いもしやすく表現力を育成できるように工夫されている。

学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫
・毎時同じ流れで、学習の進め方が明確に例示されているため、見通しをもち、主体的に学習できるように工夫されている。

健康・安全についての理解を深めるための工夫
・「豆知識」で児童の理解をさらに深めたり、「実習」で実践する中で体験的に理解を深めたりできるように工夫されている。

生涯にわたって健康を保持増進する資質・能力を育成するための工夫
・「ステップ4 まとめる・生かす」という場面では、学習したことを自分の言葉でまとめられるようになっている。さらに学習したことを活かせるような場面を提示し、自分の考えが記入できるように工夫されている。

「資料」について
・デジタルコンテンツの内容は、各章の動画やシミュレーション、図鑑等があり、教師が示すだけでなく児童が学習のまとめの際に資料として活用しやすいように工夫されている。

「表記・表現」について
・高学年の教科書には、「不安や悩みがある時の相談窓口」が記載された。児童の人権等への配慮がされている。

「総括」について
・学習の最後に学んだ知識をアウトプットできるように工夫されている。
・単元の項目や重要語句が太字になっていたり、別枠になっていたりして押さえるポイントが明確になるように工夫されている。

「新版 たのしい保健」(大日本図書)
知識及び技能が習得できるようにする工夫
・習得すべき知識・技能について、イラストや写真で解説があり、見やすくなるように工夫されている。

思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫
・「ここで学ぶこと」で本時の課題が明示され、課題解決を図りながら思考を深めることができるように工夫されている。

学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫
・折り込みで隠して主体的に取り組むことで児童の集中力を高め、興味・関心を引き出すように工夫されている。

健康・安全についての理解を深めるための工夫
・「つかもう」から「話し合おう・考えよう」という流れになり、「つかもう」では課題を理解し、「話し合おう・考えよう」では、例示を見て、課題の解決策を個人やみんなで考えられるように工夫されている。

生涯にわたって健康を保持増進する資質・能力を育成するための工夫
・「いかそう」という項目を必ず設け、学んだことをこれからどのように生かすかを考えさせるように工夫されている。

「資料」について
・二次元コードから、児童の意欲喚起につなげるための単元の導入における「学習ゲーム」や、学習に関連する資料などを活用することができる工夫がされている。

「表記・表現」について

- ・基本的に1単位時間が見開き1ページになっているとともに、A4判になったことで、児童にとって見やすくなるように工夫されている。

「総括」について

- ・「ここで学ぶこと」に学習課題が表記されており、児童がめあてを意識しやすく主体的に学習できるように工夫されている。
- ・新しい語句の知識や補足説明があり、理解を深められるように工夫されている。

「新 小学校保健」(大修館)

知識及び技能が習得できるようにする工夫

- ・本文が簡潔で、重要語句が太字になっていて、「解説」で学習上必要な語句の詳しい説明があり、知識・技能が習得しやすいように工夫されている。

思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫

- ・「話し合おう」「まとめ、生かそう、伝えよう」で、自分の考えを記入し、友達と話し合う機会をもつことができるように工夫されている。

学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫

- ・「きょうの課題」があり、課題解決型の学習の流れになっているため、自主的に考えることができ、学習意欲の向上につながるように工夫されている。

健康・安全についての理解を深めるための工夫

- ・資料や事例を多く使い、文からではなく、資料・事例から考えさせ、思考力や理解力を深めることができるように工夫されている。

生涯にわたって健康を保持増進する資質・能力を育成するための工夫

- ・「資料(もっと学びを広げよう!深めよう!)」では、見開き1ページ分を使い、学習内容から日常生活へのつながりや体験談、相談例等、これからの生活に活かすことができるように工夫されている。

「資料」について

- ・単元の最後に練習問題が掲載されており、学習内容のふり返りができるように工夫されている。

「表記・表現」について

- ・押さえるポイントが明確になるように、単元の項目や重要語句が太字になっていたり、別枠になっていたりしている。

「総括」について

- ・学習の進め方が明記されており、児童が見通しをもって主体的に学習に取り組めるように工夫されている。
- ・「もっと学びを広げよう!深めよう!」では、児童が習得した知識を実生活で実践に結びつける力を身に付けることができるように工夫されている。

「新わたしたちの保健」(文教社)

知識及び技能が習得できるようにする工夫

- ・毎時の「学習のまとめ」の中で、キーワードが太字になっていたり、色枠で強調されていたり、知識・技能が習得しやすいように工夫されている。

思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫

- ・「わたしの〇〇宣言」に記入し、その根拠や友達の意見を聞くことで自身の思考を深めることができるように工夫されている。

学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫

- ・登場人物に吹き出しを付けて話し掛ける構成となっており、学習意欲の向上につながるように工夫されている。

健康・安全についての理解を深めるための工夫

- ・「ちょっとまった!」「Clear」「Complete」の項目があり、課題解決に向けた補助的な発問が提示されており、理解を深められるように工夫されている。

生涯にわたって健康を保持増進する資質・能力を育成するための工夫

- ・自分をふり返って書く欄や「もう一步先の自分へ」の項目があり、ふり返りから今後の生活へのつながりを意識した展開になるように工夫されている。

「資料」について

- ・統計データは平成29年から令和2年と比較的新しい。また、アスリートからのメッセージや重要語句の補足説明などが多く記載されている。

「表記・表現」について

- ・挿絵や写真、イラストが大きく見やすい。また、単元の見出しや学習課題がはっきりしており、児童が課題をつかみやすい表記になっている。

「総括」について

- ・各時間最後の「もう一步先の自分へ」では、実践的活動を多く取り入れて、知識・技能を身に付けられるように工夫されている。
- ・生涯にわたって健康を保持増進する資質・能力を育成するために、資料等を活用して児童の自発的な学習を促すような工夫がされている。

「小学保健」(光文書院)

知識及び技能が習得できるようにする工夫

- ・単元の末についている「学習のまとめ」では、本単元で習得した知識の定着を図ることができるように工夫されている。

思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫

- ・「考えよう」では、多様な資料が掲載されているため思考しやすく、また周りの友達に聞く場面も設定されているため、表現力の育成に繋がれるように工夫されている。

学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫

- ・「生かそう」では、学習したことを基に自分の考えを書いたり、友達にアドバイスをしたりする等、主体的に取り組めるように工夫されている。

健康・安全についての理解を深めるための工夫

- ・絵やグラフだけでなく、写真も多く使用されており、資料を基に思考力や理解力がより深められるように工夫されている。

生涯にわたって健康を保持増進する資質・能力を育成するための工夫

- ・児童がわかるような身近な資料や写真から学習内容の生かし方につなげ、児童の興味・関心を高める工夫がされている。

「資料」について

- ・家庭での活用も含めて、児童の学びの助けとなるデジタルコンテンツが活用できるように工夫されている。

「表記・表現」について

- ・学習課題が目立つ表記になっており、特別支援的な配慮を要する児童も課題をつかみやすいように工夫されている。

「総括」について

- ・各単元の最後には、学習のまとめとして発問形式で示され、理解を深めることができるように工夫されている。
- ・単元の項目や重要語句が太字になっていたり、別枠になっていたりして押さえる箇所が明確になるように工夫されている。

「新・みんなの保健」(学研)

知識及び技能が習得できるようにする工夫

	<ul style="list-style-type: none"> ・「ほけんのはこ」や「発展」マークのある学習内容があり、幅広い知識の習得を図ることができるように工夫されている。 <p>思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自己の課題を見つけ、その解決に向けて学習を進めることで、思考力・判断力・表現力を育むことができるように、毎時間の授業が3ピースで構成されている。 <p>学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3ピースで見通しをもって学習することができ、主体的・協働的に学ぶ態度を養うことができるように工夫されている。 <p>健康・安全についての理解を深めるための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ピース2では、必ず話し合いの活動ができるような発問を入れ、個人で考えたことをペアやグループで意見交換し、深められるような展開に工夫されている。 <p>生涯にわたって健康を保持増進する資質・能力を育成するための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各単元の末に「ふり返り→伝える→つなぐ」というページがあり、学習のふり返りや今後の生活の仕方を考えられるように工夫されている。 <p>「資料」について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・二次元コードを読み込むことで、資料をダウンロードすることができるので、教師が資料の作成をしやすくなるように工夫されている。 <p>「表記・表現」について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・単元の初めに「学習の目標」が書かれており、児童が各単元のゴールを意識させ、1単位時間のめあてもゴールに繋がる流れになっている。 <p>「総括」について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保健学習の進め方が明記され、見通しをもち、主体的に学習に取り組むことができるように工夫されている。 ・道徳やキャリア教育、食育に関する内容もあり、児童が生涯にわたって健康を保持増進する資質能力を育成することができるように工夫されている。
会長	質問はあるか。
委員 B	主体的に学習できる工夫がされているとあったが、具体的にはどのような工夫がされているのか。
事務局	毎時同じ流れで、学習の進め方が明確に例示されているため、子供たちは見通しをもちやすい。
委員 C	現代の諸課題について考えられるような工夫はされているのか。
事務局	新型コロナウイルス、LGBTQ等の内容が記載されている教科書もある。
委員 E	二次元コードについてはどのような内容か。
事務局	それぞれの教科書に二次元コードがあり、デジタルコンテンツにアクセスすることができる。リスニング音声やアニメーションなど、様々な情報が収集できる。
会長	次に外国語科（英語）の報告を願う。
事務局	「NEW HORIZON Elementary English Course」（東京書籍）知識及び技能が習得できるようにする工夫

- ・アニメや実写映像による導入で単元の内容に慣れ親しみ、友達とのやりとりを中心に学習内容の定着を図った後、単元のゴールとなる活動で会話や発表を楽しむ構成となっている。各単元末に「Sounds and Letters」で文字や音に慣れ親しむ活動や文を読む活動がある。

思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫

- ・学習の慣れ親しみから、児童が思考力・判断力・表現力を働かせて行う言語活動へと段階的に構成されており、学習内容が定着しやすいよう工夫がなされている。

学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫

- ・Over the Horizonが各ユニットにあり、世界の生活や文化について触れることができ、国際理解についての学習を深めることができる。また、英語や日本語を使って、自分の考えを表現するようになっている。

聞くこと、読むこと、話すこと [やりとり] 話すこと [発表] 書くことなどのコミュニケーションを図る基礎となる資質・能力を育成するための工夫

- ・Sounds and Lettersは、文字の形や名前から文字の音に慣れ親しみ、最終的に文を読む活動に取り組める構成になっている。

「資料」について

- ・ストーリーやチャンツ、歌など二次元コードから情報が収集できるような工夫が見られる。

「表記・表現」について

- ・英語、日本語ともに、ユニバーサルデザインの書体となっている。

「総括」について

- ・単元ごとにGoalが示されており、UnitのGoalとまとめの活動が概ね一致していてわかりやすい。また、年3回「Check Your Steps」で内容を整理して発表することで、語彙や表現の定着を図っている。
- ・デジタル教科書では、教科書の書き込みスペースがワークシート化されていて、授業支援ツールと連携して児童のアウトプットの収集・整理を行うことができるようになっている。

「Junior Sunshine」(開隆堂出版)

知識及び技能が習得できるようにする工夫

- ・英語を聞く、使うを繰り返した後、音声で慣れ親しんだ英語を文字と結びつけ最後に書く活動という構成になっている。既習の語句や表現を繰り返し使用し定着を図る「Small Talk」を2時間に1回程度設定している。アルファベット学習「Sounds and Letters」は帯活動になっており、継続的に行えるよう工夫されている。

思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫

- ・思考力・判断力・表現力を育てるため、各単元において実際に英語を使用して互いの考えや気持ちを伝え合う言語活動が豊富にある。

学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫

- ・レッスンそれぞれで取り扱う内容が、身近なところから将来の夢へと広がり学習しやすい。また、職業観や生き方について考えを深めることができる。

聞くこと、読むこと、話すこと [やりとり] 話すこと [発表] 書くことなどのコミュニケーションを図る基礎となる資質・能力を育成するための工夫

- ・Sound Boxでは音声を聞いて文字の音に親しんだり、文字の音に気をつけて読んだりする活動を取り入れている。また、レッ

スンごとに学習を振り返り CAN-DO チェックをする機会がある。

「資料」について

- ・既習事項を確認する「Let's Review!」「授業で使える20の表現」がある。

次に、「表記・表現」についてです。

- ・英語はオリジナルの書体である。日本語はユニバーサルデザインの書体である。

「総括」について

- ・各単元で身に付けさせたい力を明確にし、ゴールの言語活動が設定されており、活動の見通しをもてるような工夫がされている。振り返りの内容が、「聞く・読む・話す・書く」の項目に分かれているので、児童自身が5つの領域を意識しやすくなっている。
- ・デジタル教科書にはリンク機能があり、自分で調べたウェブサイトへのリンクを貼ることができる。また、授業の流れや復習に役立つ資料集等を掲載している。

「CROWN Jr.」(三省堂)

知識及び技能が習得できるようにする工夫

- ・一年間に設定された3つの大きな言語活動(発表)に向かって、それぞれ2~3のLessonで、語句や表現を身に付ける構成となっている。各Lessonは聞く・話す・練習・コミュニケーション・読む・書くの順序で表現を学習する。全Lessonに文字と音のつながり、語句、表現の3種類のチャンツがある。

思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫

- ・友達のことをよく知ったり、友達を応援したりするなどのコミュニケーションの目的、場面、状況を明確にした言語活動が多く取り込まれている。

学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫

- ・地域のことや学校生活、将来のことなど、今そしてこれからの自分を考える内容となっている。また、Hello Worldでは、他国の文化について知り、他者への理解を深めることができるようになっている。

聞くこと、読むこと、話すこと [やりとり] 話すこと [発表] 書くことなどのコミュニケーションを図る基礎となる資質・能力を育成するための工夫

- ・各Lessonの終わりで振り返りをし、ゴールの達成度や自身が工夫したことを自己評価できる。Unitの最後にはUnit全体のふりかえりをおこない、ゴールの達成度を確かめることができるようになっている。

「資料」について

- ・欄外に、書く時の注意事項等、ワンポイントアドバイスがある。

次に、「表記・表現」についてです。

- ・4線の上に太字で書く手本が示され、書きやすいような工夫が見られる。

「総括」について

- ・Unitの導入では、Unit全体の学習内容の見通し図るとともに、Unit内の活動に合わせたモデル動画を見て、学習内容についてイメージをもつことができるようになっている。また、Unitの学習後にどんなことを言いたいかを考えてMy Goalを書くことで、自分のゴールを設定することができるようになっている。
- ・デジタル教科書では、ペン機能やポートフォリオ機能がある。

「ONE WORLD Smiles」(教育出版)

知識及び技能が習得できるようにする工夫

- ・学びの見通しが立てられるよう1年間の学習のロードマップ

を示した上で、各 Lesson に日本語で Goal を明示している。「Let's Listen」と「Activity」を中心に段階的に読み書きを学べるシンプルで分かりやすい単元構成である。全 Lesson に「Sound and Letters」と「Review」があり、文字、音の違い、語順を丁寧に学べるようになっていく。

思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫

- ・学校や家庭生活といった、児童の身近な暮らしに関わる場面を中心としつつ、レストランでの注文や道案内など、特有の表現が使われる場面をバランスよく設定し、コミュニケーションを通して言語の意味や働きを体験的に理解できるように構成されている。

学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫

- ・Lesson の内容に、世界の生活や文化を盛り込まれており、英語の学習を進めながら、国際理解に関する学習を深めることができるようになっていく。

聞くこと、読むこと、話すこと [やりとり] 話すこと [発表] 書くことなどのコミュニケーションを図る基礎となる資質・能力を育成するための工夫

- ・Lesson 内にペアやグループで協力し合いながら取り組む Activity や Final Activity を設け、実際にコミュニケーション活動をする機会を豊富に取り入れている。その際には、学習した内容を活用してコミュニケーションがとれるように工夫されている。

「資料」について

- ・「Classroom English」など、既習事項に触れられるような工夫がある。

「表記・表現」について

- ・英語、日本語ともに、ユニバーサルデザインの書体となっている。

「総括」について

- ・各単元がシンプルに構成されており、導入の部分の「Let's Say It Together」でその単元で学ぶ表現を言う口慣らしの活動を設けているので、単元を通して習得すべき表現を意識しながら学習に臨めるようになっていく。
- ・デジタル教科書の英単語を選択するとネイティブの発音が再生されるなど、個別最適な学びや1人でも対話の練習ができるといった工夫がされている。

「Here We Go!」(光村図書出版)

知識及び技能が習得できるようにする工夫

- ・各 Unit が Hop, Step, Jump の3段階で構成され、基礎的な知識及び技能を着実に習得できるようにしている。まとめの活動を年3回設定し、Unit で学んだ表現を発信できるように工夫している。各 Unit に Small Talk を新設し、既習表現の活用と定着を促すとともに、相づちを扱い、対話の続け方に慣れることができるようにしている。各 Unit の目標が明確に示されており、Can do リストに関連した振り返りができるようになっている。

思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫

- ・各 Unit に、言語活動を行う Let's try. と Plus One が設けてあり、Let's try. で扱った話題を Plus One で別の相手に伝えたり、既習表現を加えてさらに詳しく相手に尋ねたりすることで、児童の思考力・判断力・表現力が繰り返し養えるように工夫している。

学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫

- ・Let's watch and think では、様々な国の文化について考えたり、考えの違いについて触れたりして、国際理解について深めることができる。

聞くこと、読むこと、話すこと [やりとり] 話すこと [発表] 書くことなどのコミュニケーションを図る基礎となる資質・能力を育成するための工夫

- ・「5年生でできるようになること」「6年生でできるようになること」として、5つの領域別の到達目標 (CAN-DO) が該当する Unit と合わせて提示されているとともに、各 Unit の最後に「ふりかえろう」で該当する領域ごとに自己評価ができるようになっている。

「資料」について

- ・ゴール、ステップごとの目標が示されている。

「表記・表現」について

- ・英語はオリジナルの書体で、日本語はユニバーサルデザインの書体である。

「総括」について

- ・Unit を Hop!、Step、Jump の3段階で構成し、Step はさらに Step 1 Step 2 に分かれている。Step ごとに聞く活動から徐々に話す・書く・読む活動へと進むことで、インプットからアウトプットへスムーズに進める。
- ・デジタル教科書では、ゴール活動のモデル動画を見ることで、目指すゴールを分かりやすく紹介している。

「Blue Sky elementary」(新興出版社啓林館)

知識及び技能が習得できるようにする工夫

- ・児童が見通しを持って学習を進められるように、Unit のとびらに Goal と各 Step のめあてを明示している。6年生では、Step 3 で日記や手紙、スピーチ原稿などのまとまった文章を書く活動がある。「読む」「書く」の学習は各 Unit の最後に1時間配当され、文字の形順になっている。

思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫

- ・言葉の使用場面や使い方を考えたり、コミュニケーションに大切なことは何かを考えさせたりするなどの児童が考える場面が多く設定されており、児童の思考力や判断力、表現力などを養う工夫がされている。

学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫

- ・Did you know? では、世界の国々の文化に触れながら、SDGs に係る取組について学ぶなど、世界で活躍する人を通して、考え方を学ぶことができるようになっている。

聞くこと、読むこと、話すこと [やりとり] 話すこと [発表] 書くことなどのコミュニケーションを図る基礎となる資質・能力を育成するための工夫

- ・Watch and do では、映像を見て、コミュニケーションをとる上でどんなところがよかったか、どんな工夫があったのかを考えるなど、よりよいコミュニケーションの工夫について考えることができる。

「資料」について

- ・前学年までの既習事項を確認できる内容が巻頭にある。

「表記・表現」について

- ・英語、日本語ともにユニバーサルデザインの書体となっている。

「総括」について

- ・Unit の Step を3段階構成にしている。まず、Step 1 で、語句や表現を使いながら言葉になれ、Step 2 で語句や表現をさらに使って身に付け、Step 3 で身に付けた表現を使ってコミュニケーションを楽しむ、というスモールステップの学習構成になっている。Unit の最後に各 Step のふりかえりができるようになっている。
- ・デジタル教科書では、ルビふりや白黒反転等特別支援教育の視点に配慮した工夫が見られる。

会長	質問はあるか。
委員 C	子供たちに「見通し」をもたせるための具体的な工夫は何か。
事務局	1年間の学習のロードマップが見開き1ページで確認できる。ゴールの姿を明確にしている。デジタル教科書では、ゴール活動のモデル動画を見ることができるなど、見通しをもち、課題に粘り強く取り組むことができるよう工夫がされている。
委員 B	小中一貫の視点で、話し合いは出ていたか。
事務局	特に話し合いは出ていなかった。
委員 D	「振り返り」をさせるために具体的にどのような工夫がされているのか
事務局	3段階評価での振り返り、短い文章での振り返りなど教科書会社によって工夫にちがいがある。
会長	次に道徳科の報告をお願いします。
事務局	<p>「新編 新しい道徳」(東京書籍) 道徳科の目標に関わる工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・巻末の「考えるためのツール」には、自分の考えを可視化し、友達と考えを比較するためのツールが例示されている。また、教材の最後の「考えよう」では、キャラクターによる問題意識を喚起するような投げかけが掲載されている。 <p>現代的な課題などの題材を教材として取り上げる上での工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生命の尊厳、自己肯定感、情報モラルなどの現代的な課題について、夏休み前後や冬休み後など、時期を考慮してユニットが設置されている。 <p>発達の段階に即しつつ、深く考えることができ、ねらいを達成する工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・絵や写真を使い授業を楽しむ低学年、身近な教材文で価値の理解を深める中学年、多様な資料から自分の生き方について考える高学年と、6年間の系統性を考えた教材配置になっている。 <p>「考え、議論する道徳」を通して道徳性を育成する工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・巻頭「ちょっと話し合ってみよう！」では、議論する際の文言例が掲載されており、巻末「考えるためのツール」には、話し合い活動を促すツールが用意されていて、主体的に思考できるよう工夫されている。 <p>「資料」について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・関連するウェブサイトへ遷移する二次元コードが、教材冒頭の定位置に掲載されている。全ての教材に3つのデジタルコンテンツ「朗読音声」「スライドショー(紙芝居)」「デジタルノート」が用意されている。 <p>「表記・表現」について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教科書本文には、ロービジョンやディスクレシアに配慮したデザインのユニバーサルデザインフォントの教科書体が使用されている。 <p>「総括」について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体験的な学習や問題解決的な学習、思考ツールを活用できるページがある。 ・場面絵に合わせて朗読音声が流れるスライドショーなどのデジタルコンテンツが用意されている。

「小学道徳 はばたこう明日へ」(教育出版)

道徳科の目標に関わる工夫

- ・各教材に「導入」「考えよう」「深めよう」が設けられ、学習前後の考えと心の変容を児童が実感できるよう工夫されている。また、教材の最後に「自己評価欄」が設けられ、学習の成果を振り返ることができるようになっている。

現代的な課題などの題材を教材として取り上げる上での工夫

- ・最優先課題であるいじめや情報モラルについては全学年で重点テーマとして位置づけ、教材とコラムの構成でユニット化されている。

発達の段階に即しつつ、深く考えることができ、ねらいを達成する工夫

- ・低学年は物語教材、中学年は生活教材、高学年は人物教材を多く取り上げ、発達の段階に応じて教材の種類や挿絵の入れ方、文章量が配慮されている。

「考え、議論する道徳」を通して道徳性を育成する工夫

- ・モラルスキルトレーニングなどの体験的な学習を行ったり、「問題を解決しよう」では問題解決的な学習に取り組んだりして、道徳的価値を考える工夫がされている。

「資料」について

- ・一枚絵や絵本形式の教材、体験的な学習の教材、イラストから学ぶ教材、漫画形式の教材などが掲載されている。

「表記・表現」について

- ・本文フォントは教科書体を利用し、ユニバーサルデザインフォントにしている。ページデザイン・挿絵・写真にはカラーユニバーサルデザインが採用されている。

「総括」について

- ・「学習のてびき」により、考え、議論する授業展開ができるようにしている。
- ・個別学習、共働学習などに使えるデジタル教材「まなびリンク」が設けられている。

「道徳 きみが いちばん ひかるとき」(光村図書出版)

道徳科の目標に関わる工夫

- ・全学年を通して、教材の最後に学習の手引き「考えよう・話し合おう」が設けられており、自分に引き寄せて考えたり、問題解決のために話し合ったりと、多面的・多角的に考えられる発問が教材に応じて設定されている。

現代的な課題などの題材を教材として取り上げる上での工夫

- ・いじめ問題ではソーシャルスキルトレーニング、情報モラルでは家庭との連携など、具体的な活動の中で考えられるように工夫されている。

発達の段階に即しつつ、深く考えることができ、ねらいを達成する工夫

- ・児童の1年間の成長に即して、年間を3つのまとまりに分けて構成していて、児童の発達の段階や特性を考慮した内容や分量になっている。

「考え、議論する道徳」を通して道徳性を育成する工夫

- ・「考えよう・話し合おう」では道徳的問題を明らかにしたり深めたりする発問があり、「図を使って考えよう」(3～6年)では思考ツールの提案があり、主体的に考えられるよう工夫されている。

「資料」について

- ・児童が学びを広げ深めることができるようにデジタルコンテンツが用意されている。教材に関連した資料、動画、朗読などのコンテンツにアクセスできるようになっている。

「表記・表現」について

- ・本文にはユニバーサルデザインに配慮したオリジナルの書体

が使用されている。「つなげよう」などの小さい文字はユニバーサルデザインフォントが利用されている。カラーユニバーサルデザインへの配慮が見られる。

「総括」について

- ・「考えよう・話し合おう」で問題解決的な学習へつながるようにしている。
- ・教材の人物のインタビュー動画や声優による音声朗読などがデジタルコンテンツとして設定されている。

「小学道徳 生きる力」(日本文教出版)

道徳科の目標に関わる工夫

- ・巻頭の「道徳のとびら」で、学習内容やねらいなどを端的に示されている。また、教材の冒頭に内容項目を児童向けの言葉で掲載し、道徳的価値と関連付けて思考を進められるよう工夫されている。

現代的な課題などの題材を教材として取り上げる上での工夫

- ・いじめ、情報モラル、SDGs、多文化共生、自己肯定感の5つのテーマに対して、教材とコラム「心のベンチ」を組み合わせて系統的に配列されている。

発達の段階に即しつつ、深く考えることができ、ねらいを達成する工夫

- ・1年間及び6年間を通して、系統性を意識して構成され、校種間連携も意識して教材が配置されている。

「考え、議論する道徳」を通して道徳性を育成する工夫

- ・「ぐっと深める」では、問題解決的な学習や体験的な学習、多様な実践活動を生かした学習を取り入れ、主体的に考えることができるようにしている。

「資料」について

- ・全ての教材冒頭に朗読音声、画像、アニメーション、ワークシート、動画、朗読動画などのデジタルコンテンツが用意されている。「道具箱」の中には、心情メーター、シンキングツール、ワークシートなどがある。

「表記・表現」について

- ・教科書本文では、UDデジタル教科書体が使用されている。行間を広げ、ふりがなのフォントに配慮している。カラーユニバーサルデザインが使用されていて、4つの視点が示されている。

「総括」について

- ・教材ごとに3つの発問があり、児童が主体的に学習できるようになっている。
- ・別冊の「道徳ノート」は紙とデジタルの使い分けができ、実態に応じた授業展開ができるよう工夫されている。

「小学道徳 ゆたかな心」(光文書院)

道徳科の目標に関わる工夫

- ・冒頭の「導入」でキャラクターによる問いがあり、児童の経験を想起させたり、主題に関わる問題意識をもたせたりすることで、問題意識を明確にした上で学習に取り組めるよう工夫されている。

現代的な課題などの題材を教材として取り上げる上での工夫

- ・全学年の重点主題として「いじめを生まない心」を主眼に、児童自らがいじめの防止などに主体的に関わる態度を育めるように工夫されている。

発達の段階に即しつつ、深く考えることができ、ねらいを達成する工夫

- ・人間としての生き方に迫る題材を選定したり、挿絵に多様な表現方法を取り入れたり工夫されていて、児童が自分事として考えを深められるように工夫されている。

「考え、議論する道徳」を通して道徳性を育成する工夫

	<ul style="list-style-type: none"> ・考えるポイントや振り返りのポイントを示したり、思考ツールを掲載したりして、主体的に考えを深められるように工夫されている。 「資料」について <ul style="list-style-type: none"> ・ダイナミックな一枚絵、迫力のある写真、漫画、実話に基づく教材、多様な地域教材などがある。 「表記・表現」について <ul style="list-style-type: none"> ・本文はユニバーサルデザインフォントが使用されている。1年～3年は総ふりがな、4年生以上は当該学年以上の漢字にふりがながふられている。カラーユニバーサルデザインに配慮されている。 「総括」について <ul style="list-style-type: none"> ・発達の段階に応じたレジリエンスコラムで自己肯定感を高めようとする工夫が見られる。 ・教材冒頭にある二次元コードから、教材理解を支援する写真や動画、参考Webサイトが見られる。 <p>「新版 みんなの道徳」(学研) 道徳科の目標に関わる工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主題名が教材冒頭にないことで、多様な価値観を受け止めることができるように工夫されている。教材の最後の「考えよう」では、児童が自己を見つめて考えるきっかけとなる問いが設定されている。 <p>現代的な課題などの題材を教材として取り上げる上での工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いのちを最重要テーマとし、ユニットで異なる内容項目の教材を組み合わせている。いのちの教育を土台に、いじめ防止の教材が配置されている。 <p>発達の段階に即しつつ、深く考えることができ、ねらいを達成する工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・様々な分野で活躍する、今を生きる人たちに関係する教材や、先人たちの足跡から学ぶ教材など、児童を引き付ける人物教材をもとに、多様な生き方から考えを深められるよう工夫されている。 <p>「考え、議論する道徳」を通して道徳性を育成する工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「深めよう」「心のパスポート」では、問題解決的な学習や体験的な学習を通して考えを深められるように工夫されている。 <p>「資料」について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いのちを最重要テーマとし、生命尊重の教材が全学年3本用意されている。先人だけでなく、今生きている人物から生き方を学ぶことができるような教材が掲載されている。 <p>「表記・表現」について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教材ごとに、道徳科の内容項目の4つの視点がマークで示されている。色だけでなく、絵柄も変えている。現代的課題に関連する事項がマークにされ、タイトル下部に掲載されている。目次の番号も色分けされている。 <p>「総括」について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主題名を巻末に提示し、児童が主体的に学習できるように工夫されている。 ・教材理解を助けるデジタルコンテンツが用意され、教材に関連したクイズ形式の動画が見られる。
会長	質問はあるか。
委員 B	現代的な課題などの題材として「いじめ」が多く取り上げられているようだが、それ以外にも取り上げられているものはあるか。
事務局	生命の尊重、自己肯定感、情報モラル、人との共生、キャリア

	<p>教育などが取り上げられているが、「いじめ」や「いのち」最重要テーマとしている教科書が多い。</p>
委員 D	<p>子供たちの考えを引き出すような工夫がなされているか。</p>
事務局	<p>多様な意見を引き出し、議論が活発化するようにしたり、児童が考え、議論しながら生き方について考えを深めたりするよう工夫がされている。</p>
委員 E	<p>学んだことを実生活で生かすための工夫はされているか。</p>
事務局	<p>道徳の時間に学んだことを実生活で生かそうとする意欲につながるよう「学習の記録」が巻末に設けられるなどの工夫がされている。</p>
会長	<p>皆様の御協力により、全ての教科書の報告が円滑に終了することができた。感謝申し上げます。これで議長の任を解かさせていただきます。</p>
事務局	<p>事務連絡を事務局より申し上げます。 第3回選定委員会は、7月14日に行田市産業文化会館2AB会議室にて行う。よろしく願います。連絡事項は以上である。</p>
司会	<p>大変お疲れ様でした。以上で、第2回第19採択地区教科用図書選定委員会を終了する。</p>